

部局名	生涯学習部	所属名	生涯学習振興課	所属長名	多田 雅子	電 話	481-0309
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4090		事務事業名称	総合生涯学習プラザ運営管理事業					短縮コード	経常	4090	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	10	総合生涯学習プラザ費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		地方自治法・八千代市総合生涯学習プラザの設置及び管理に関する条例・八千代市総合生涯学習プラザの設置及び管理に関する条例施行規則・八千代市財務規則						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するとともに,市民が「いつでも」・「どこでも」・「だれでも」が気軽に利用でき,また,学習の成果を地域社会等で生かすことのできる「生涯学習社会」を形成するための中核的な役割を担う施設として平成19年4月1日に開設した。 また,知識や技術等を持つ人材をボランティア講師とし,その知識等を学びたい人に紹介するボランティアバンク制度（平成21年1月）を開始した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして					
開設をして,5年余りが経過し,利用者は年々増加している。今後も利用者の意見等を取り入れ,改善できることは改善していく計画である。 八千代市施設予約システムの導入。						大項目（節）	02	第2節生涯学習					
						中 項 目	01	1. 生涯学習					
						小 項 目	03	(3)市民の学びの環境整備					
						細 項 目	01	①生涯学習情報の充実					
02	②生涯学習関係施設の整備・充実												
					実 施 計 画 の 計 画 事 業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	全市民。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ①スポーツ施設及び文化施設の貸し出し業務（指定管理者）②主催講座等の開催（9講座）③生涯学習情報の提供（まなびネットやちよ）④情報提供コーナーの一般開放⑤複写機・印刷機の利用（有料）⑥生涯学習ボランティアバンク制度の活用							
	※平成24年度に計画していること： ①スポーツ施設及び文化施設の貸し出し業務（指定管理者）②主催講座等の開催③生涯学習情報の提供（まなびネットやちよ）④情報提供コーナーの一般開放⑤複写機・印刷機の利用（有料）⑥生涯学習ボランティアバンク制度の活用							
意図 （何を狙っているのか）	①市民の健康増進の向上。 ②生涯学習に関する情報の収集及び提供。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	全市民（3月末現在）	人	193,274	196,400	192,884	199,500	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	施設の来館者数	人	157,283	160,000	170,603	175,000	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	施設の来館者数の市民に対する割合	%	81.4	81.5	88.4	87.7	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4090	事務事業名称	総合生涯学習プラザ運営管理事業			所属名	生涯学習振興課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			清掃、植栽、修繕等、モニタリングをとおして気づいた点を運営に生かし、市民サービス向上に努めていく。利用者増を図るためさらにPRに努めていく。		
		☒ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			指定管理者制度の利点を生かし、市民ニーズを取り入れた運営を図っていく。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☒	☐	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
開館時間の延長・施設の利用料金の値下げ等について利用者から要望が出されている。	

所属長コメント	市とPFI事業者が業務を分担し、スポーツ施設や文化施設の貸出、主催事業の開催、「まなびネットやちよ」による生涯学習情報の提供、生涯学習ボランティアバンクの活用等を行い、施設の利用を拡大していく。公共施設予約システムの導入や「まなびネットやちよ」のリニューアル、スポーツ機器のリニューアルを行い、市民の利便性の向上を図っていく。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続	利用者の拡大等を図ることについては、経費の増加が伴うことから指定管理者と費用対効果を検証したうえで推進すること。
	☒ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☐ 現状のまま継続		